

安城市内景況調査結果 (平成26年7月～9月)

〈円安・物価高で業況は足踏み〉

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 35企業

2. 調査対象時期 平成26年7～9月期

(1)前年同期(平成25年7～9月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成26年10～12月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	12	9	5	9	35
構成比	34.3%	25.7%	14.3%	25.7%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△1.9ポイントと下降した。全業種とも雇用人員DIが下降した。

来期の業況判断DIは、6.0ポイント、売上高DIも0.6ポイントと上昇判断であるが、製造業、小売・卸業での業況判断DI、収益状況DIが著しく下降している。円安の影響が懸念される。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△28.6	△1.9	6.0
売上高	△20.3	△3.3	0.6
売上単価	△4.7	2.5	5.8
資金繰り	△11.6	△7.6	2.7
借入難度	△7.7	2.0	4.8
収益状況	△16.2	△23.6	△13.1
雇用人員	△14.6	△18.2	△26.1

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△1.9		△16.6		11.1		20.0		△22.2	
	売 上 高	△3.3		△0.1		△22.2		20.0		△11.1	
	売 上 単 価	2.5		△16.7		△11.1		60.0		△22.2	
	資 金 繰 り	△7.6		△8.3		0.0		0.0		△22.2	
	借 入 難 度	2.0		8.3		11.1		0.0		△11.1	
	収 益 状 況	△23.6		△16.7		△33.3		0.0		△44.4	
	雇 用 人 員	△18.2		△8.4		△33.3		△20.0		△11.1	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	6.0		△24.9		△22.2		60.0		11.1	
	売 上 高	0.6		△24.9		△11.1		0.0		33.3	
	売 上 単 価	5.8		△16.7		△22.2		40.0		22.2	
	資 金 繰 り	2.7		0.0		0.0		0.0		11.1	
	借 入 難 度	4.8		8.3		11.1		0.0		0.0	
	収 益 状 況	△13.1		△41.6		△33.3		0.0		22.2	
	雇 用 人 員	△26.1		0.0		△33.3		△60.0		△11.1	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。